



苅尾電波塔

「苅尾（かりお）」とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人達は親しみをこめて
「かりお」の名前を使っています。

もくじ

お知らせ

- 一 休館日のお知らせ
- 一 北広島ドライブガイド誌「きたひろ DRIVE」について

活動報告

- 一 可愛川の水生生物観察会
- 一 深入山の植物観察会

観察会案内

- 一 霧ヶ谷湿原の植生調査（秋）
- 一 霧ヶ谷湿原 秋のいきもの観察会
- 一 サツキマス保全の試み
- 一 キノコ観察会

お知らせ

●休館日のお知らせ

シルバーウィーク中の9月22日（火）は、高原の自然館を開館します。

振替として、9月24日（木）を休館日としますので、よろしくお願いします。

●北広島ドライブガイド誌「きたひろ DRIVE」について

「せっかく八幡に、芸北に、北広島に遊びにきたのにどこに行けばいいのかわからない」

そんなお悩みを解決してくれる「きたひろ DRIVE」の2015年版が発行されています。豊富な写真や地図による情報がたくさんあり、町内のスポット案内ももりだくさんです。

高原の自然館入り口の卓上にも置いてありますので、お早めどうぞ。

自然館裏手にある、「おーいの丘」も紹介されていますよ。

観察会報告

●可愛川の水生物観察会

開催日時：2015年8月2日（日）13:00

講師：内藤順一

北広島町千代田地域の可愛川（えのかわ）の水生物の観察会に、11名の参加がありました。講師は内藤順一先生です。

最初に、可愛川に生息するオオサンショウウオの生態を、室内で学びました。世界にオオサンショウウオは3種類いること、オオサンショウウオにまつわるお話や生息地域等をスライドを見せていただきました。

可愛川に移動して、足下に気を配りながら、網や箱メガネを手に、魚やオオサンショウウオを探します。ギンブナ・チチブ・ムギツク・オヤニラミ・コウライニゴイ・ミズカマキリ・スジエビなどを確認し、種類ごとに内藤先生から解説がありました。また、オオサンショウウオの個体確認をするために、マイクロチップを調べたところ、3個体中2個体が新しいものだとわかりました。

この3個体は70センチ前後のオオサンショウウオで、内藤先生によるとやせている、とのことでした。魚などが、水温が高くなり活性化しており、えさの確保が難しい時期なのだろう、というのがやせている原因のようです。毎年川に入り、個体を調査し、データをとっている内藤先生ならではの視点で、ここでしか学べないことを教えていただきました。また、オオサンショウウオ同士で争ったためにできた傷や、指の欠損なども確認しました。

川に入り、どんなところでどんな生き物が生息しているのかを肌で感じ、間近で観察する事で、図鑑ではわからないところまで体感できました。夏休みの思い出がまたひとつ増えた時間となりました。[このやよい]



まずは室内でしっかりと学びます。



現地に到着。この下流で生きものを観察します。



ライフジャケット、しっかり装着できたかな？



川に入って早速観察開始！！



内藤先生が、捕まえた生きものたちを解説してくれた。



顔を突っ込んで見る水の中には、何がいる？



大きなオオサンショウウオも見つけた！

【みなさんの印象に残った物】

「オオサンショウウオ、チチブ」「大きいチチブを捕まえたこと」「ミズカマキリを見つけたこと」「チュウゴクオオサンショウウオのあつかいについて」「魚が少なかったこと、水温が高かったこと」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「貴重な体験をさせていただきました」「いろんな生き物をみれてたのしかった」「楽しかったです」「今年は晴れてよかった！」「足の指がないサンショウウオを初めて見ました。生きる上での競争の厳しさを改めて感じました」

観察会報告

● 深入山の植物観察会

開催日時：2015年8月29日（土） 9:30

講師：大竹邦暁・和田秀次

数日前の台風の影響が心配されるどんよりとした曇り空の下、13名の参加者が深入山ふもとのいこいの村ひろしまに集合しました。

まずは研修室で、講師の大竹先生、和田先生による深入山周辺の地質や植物などについての事前学習です。

深入山は芸北の雲月山と同じように、山焼きによって草原が維持されていること、282種類の植物が確認されていることなどを教わりました。ちょうど、チョウの専門家である上手先生も参加されており、深入山に生息している珍しいチョウ、キマダラルリツバメやゴマシジミのお話を聞く機会もあり、参加者はそれもしっかりと聞いていました。単純に花が好きというだけではなく、自然保全に関心を持っているのだと嬉しく思いました。

今回は毎年恒例のコースではなく、いつもと違うコースを歩くことで、何か違うものが見えるのではないかと、いこいの村の裏から登り、オートキャンプ場の方へ降りるというコースを選択しました。

行きは急勾配がほとんどなく、ゆっくりと草原の植物を観察しながら登ることができました。先日の台風の影響か、一見、花は多くなかったように思えますが、よくよく観察していくと、てんぷらにすると美味しいというウドの花、オレンジ色の鮮やかなコオニユリや、秋の七草であるハギ、キキョウ、クズなど意外とたくさんの花が咲いていることに気づきます。

いろんな植物を先生の解説付きでじっくり見ながら登った結果、頂上に登ることは時間的に難しい、と断念することになりました。しかしながら頂上や下界を眺めながら、大きな安山岩の上で食べるお弁当は格別でした。

帰りの道は足場が悪く、急斜面も多くて「降りるので精一杯！」という方々が多く、来年は別ルートを考えて方がいいと感じました。

一日中雨を心配する空模様でしたが、幸運にもほとんど雨に降られることなく無事終了！フジバカマ以外の秋の七草も確認することもでき、深入山の植物の多様性を改めて感じた1日となりました。[まえだふせ]



スライドで、深入山の歴史や植生を学習中。



身振り手振りの先生の解説をしっかりと聞く。



時には手にしてじっくりと。



小さな小さなヒキガエルも見つけた。



キセルに似た、可愛いオオナンバンギセル。

【みなさんの印象に残った物】

「台風の後か、花が少なかった」「滑るので、細心の注意を払った」「ブナやミズナラのもともとあったと思われる樹木を教えてもらったこと」「秋の植物の多さ。説明大変に良い」「オケラが綺麗に咲いていました」「石や、やどりぎの話」「赤いきれいな土！滑ってしまった！」「松についた蜂の幼虫。昨年と比べると花が少なかった」「平素気にかけていない足元に色々な珍しい植物が多々あると気づいた」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「新しい植物の発見がありました。ゆっくりで十分説明が聞けました」「雨も降らずあつくもなく大変良かった(2)。今まで知らなかった花、植物を覚えた」「新ルートでいつも見ない植物もあり良かった」「最初の説明少し長い。でもよくわかった」「下がきつかったです（植物見るゆとりがなかった）。登りはとても良かったです」「色々初めて見る花に感動しました。楽しかったです」「秋の花が見れて楽しかった」「南登山道は滑る。帰りは林間コースがいいと思います。登りは今日のコースが良かった」



深入山頂上を背景に記念撮影。ハイチーズ！

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

●霧ヶ谷の植生調査（秋）

開催日時：2015年9月19日（土）9:30

集合場所：高原の自然館

講師：大竹邦暁、佐久間智子・和田秀次

定員：30名

準備物：作業セット

参加費：無料

夏に続いて、秋も植生調査を行います。調査を続けることで、湿原がどのように変化しているかを知る大切なデータとなります。講師の先生から植物の特徴を解説していただけるので、楽しみながら調査できます。初めての方もお気軽にご参加ください。

●霧ヶ谷湿原 秋のいきもの観察会

開催日時：2015年9月26日（土）9:30

集合場所：高原の自然館

講師：岩見潤治・大竹邦暁・内藤順一・和田秀次・松田賢

定員：40名

準備物：基本セット

参加費：一般=300円、賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

涼しくなり始めた霧ヶ谷湿原では、どんな動植物が見られるのでしょうか。マアザミやマツムシソウ、赤トンボの仲間やカンタンなど、秋の昆虫や植物を、講師の先生と一緒にゆっくりと歩きながら観察してみましよう。

●サツキマス保全の試み

開催日時：2015年10月12日（月・祝）9:30

集合場所：八幡高原センター

講師：内藤順一

定員：30名

準備物：基本セット、双眼鏡

参加費：一般=300円、賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

農業堰に留まっているサツキマス降湖型を捕まえて、上流へと運びます。ヒトが遮断した堰は、ヒトが手助けする取り組みです。川辺での観察会ですので、暖かい服装でお越しください。

●キノコ観察会

開催日時：2015年10月17日（土）9:30

集合場所：聖湖キャンプ場

講師：新谷正信

定員：30名

準備物：基本セット、かご

参加費：一般=300円、賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

秋といえばやっぱりキノコ。山を歩いて探したキノコを、専門の先生に同定と解説をしていただきます。名前とその由来、特徴や生息環境などを、楽しみながら学びましょう。見つけたキノコを入れるためのかごをご用意ください。

台風一過！と思ったら、秋雨前線がやってくる…雨の多い季節となりました。湿原にはミゾソバやタンナトリカブト、アケボノソウといった花が綺麗に咲き誇り、周囲を散策すると半袖では肌寒く感じる日もあります。空気の匂いも、湿原や高原の雰囲気も、もうすっかり秋ですね。[まえだふせ]

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしております）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551

広島県山県郡北広島町東八幡原10119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info